

にいざ温泉

Niza Onsen
(埼玉県新座市)



スキーシーズンなのに、足腰が痛く、スキーが思うようにできない。そこで、スキーを休み、近場の温泉へ行くことになった。今回紹介するのはにいざ温泉。埼玉スポーツセンター内にある日帰り温泉施設である。スキー帰りに所沢インターで関越を降りると、にいざ温泉の近くを通るため、一度行ってみなくてはと、気になっていた温泉である。

埼玉スポーツセンターは、ボウリング、ゴルフ、フットサル、卓球、ビリヤード、バッティングなどが可能な運動施設だ。にいざ温泉はそれらの運動をした後の入浴としても利用可能である。また、にいざ温泉には岩盤浴、エステ、あかすりもある。

館内に入って靴を脱ぎ、下駄箱の鍵をフロントに出すと、清算用のタグを渡される。温泉は地下にある。どうも地下は1階より広いようで、地上の平置き駐車場の下にも建物が広がっているようである。

脱衣室にはロッカーが502個もある。ここで着替えてから、各スポーツ施設で汗を流している利用客が多いのかもしれない。脱衣室には洗面台が3個、無料で使用できるドライヤーが2個、アメニティーとしてローショントニック、ヘアリキッドがある。他に、マッサージ椅子(10分200円)、日焼けマシン(10分500円)もある。

にいざ温泉の湯は、古代の海洋性植物の堆積物が起源である。茶褐色をした湯にはフミン酸が含まれており、肌がぬるぬるとした感じになる。海外では「モール湯」と呼ばれているらしい。「モール」とは「亜炭」のことだそう。

内風呂には、この茶褐色の湯を使った大風呂、寝風呂、マッサージ風呂がある。大風呂は41℃と適温で、定

員 30 人ほどの岩風呂だ。寝風呂とマッサージ風呂は各 3 人分あり、39℃とぬるめ。寝風呂では腰とふくらはぎにマッサージ流が当たり、マッサージ風呂では腰から背中にかけてマッサージ流が当たるようにノズルが配置されている。寝風呂で茶褐色の湯というのは珍しいかもしれない。

中央には絹の湯がある。湯温は 40℃でぬるめ。細かい気泡のため、湯が白く見える。よく見ると、大風呂と絹の湯では居眠りをしている客が多い。それだけ快適なのであろう。

サウナは室内温度 88℃で定員 15 人ほど。室内にテレビはあるものの、枠が 4:3 なのにテレビがワイド画面なので、両端が見えない。ご愛嬌か。

浴室には大きな天窓が配置されているので、昼間はとても明るい。露天風呂はないが、天窓のおかげで、半屋外にいるような気分である。天窓下に配置された 6 台の換気扇のうち 3 台が稼働していたが、これが結構うるさい。そもそも 3 台も換気扇を運転する必要があるのだろうかと思う。昔ながらの温泉には換気扇はなく、湯気抜きがあるだけだ。

脱衣室の前には食事処や、漫画コーナー、ゲームコーナー、居眠り場所があり、一日中施設を楽しめるようになっている。平日に来たら、さぞかし空いているのであろう。

ちなみに、にいざ温泉の湯は、ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉（低張性・弱アルカリ性・低温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、健康増進、疲労回復、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病に効くという。

早く足腰の痛みをなくしないと、あつという間にスキーシーズンが終わってしまう。

DATA

名称	にいざ温泉
所在地	埼玉県新座市本多 2-1-5
電話	048-479-4126
営業時間	平日 9:30～24:00(最終受付 23:30) 土日祝日 8:30～24:00(最終受付 23:30)
定休日	不定休(要確認)
入浴料	平日大人 780 円、小人 400 円 土日祝日大人 880 円、小人 500 円
サウナ	あり
サウナ内のテレビ	あり
取材日	2020 年 2 月 23 日(日)
取材	銭湯愛好会東京支部